

読書に浸ることのできた一週間

24日(金)、児童集会で図書委員会の皆さんによる発表がありました。

図書館でのマナーの確認や、本の紹介クイズなどを行いました。まず、本を丁寧に扱うことの大切さを視覚に訴えて伝えました。次いで本の紹介クイズは、わたしには答えられないものばかりでしたが、さすが、子どもたちはしっかりと記憶しており、その多くを答えていて感心しました。本への関心を高めるための工夫が活かされていました。

朝読書、先生方による読み語りや「思い出の一冊」の紹介、給食も物語に登場する魅力的なメニューを再現してくださるなど、学校中で読書に親しむ



「こうすると本が傷んでしまいます」

雰囲気が高まっていました。各学年の朝読書の様子を見させてもらいましたが、どの教室も静まりかえって物語の世界に浸っている子どもの姿がありました。

ご家庭での「親子読書」ご協

力ありがとうございました。わたしはこれから全校児童の「読書カード」を楽しみに読ませていただきます。読書週間は終わっても、お家での子どもさんの読書の時間を、ぜひ大切にいただければ嬉しいです。

5年生立派に「田植え」を終える

27日(月)、5年生が「田植え」をしました。お家でお手伝いをしている子が多いということでしょう。手際よく、すいすいと植えていく様子に驚かされました。あっという間に一面緑色の稲が風にそよぐ田んぼとなりました。

もちろん JA の皆様の下準備があったことです。お忙しい中、田んぼには植える位置の目印となる縦横の線を付けてくださってあり、植え方や植え直しのご指導もいただきました。



ここまでの田おこし、稲の手配、畦シート張りや畦草刈り、代掻きなど、飯森教育長さんや塚原コーディネーターさんがお忙しいお仕事の合間に手助けをしてくださってこそ、この日の田植えにこぎつけることができています。

「お米を味わうことができる」までの過程は本当に大仕事です。5年生とは言え、まわりの方のお力をお借りしなければとても叶いません。「自分たちのできることに全力で取り組む」「お世話になった方への感謝の気持ちを忘れない」この活動をとおして5年生が、また一層多くのことを学ばせていただけることに期待しています。

気づきを行動に



「テープを使わせてください」

5年生のある子が校長室を訪れました。

「何に使いたいの」「一輪車と棚に番号をつけて、使った後に片付けをしやすくしたいんです」

休み時間を使って、あっという間に一輪車と、その一輪車をかけておくフックの位置にテープで番号が貼られました。

休み時間になると、大勢の子が中庭で一輪車に乗ります。番号をはってもらって、そのお陰で片付けがとてもしやすくなりました。この気づきと行動力、とても素敵ですね。

職員非違行為防止研修報告

決してあってはならない学校職員による児童・生徒に対するわいせつな行為にかかわる報道が続いています。「児童・生徒に対する『性的行為』の根絶」に向けて、麻績小学校職員も研修や協議を進めてきています。

(1)「校内ルール」を定めてお互いの注意喚起を促しています。〈抜粋〉

- 児童・生徒及び保護者と私的な電話、メール、SNS等によるやり取りはしない。
- 児童・生徒と教室や会議室で外から見えない状況で1対1にならない。相談等ではドアを開放したり、複数で相談に応じたりする。やむを得ない場合は校長等に連絡の上指定された場所で行う …等。

(2) 校長講話にて、困ったこと、いやなこと、辛いことがあったらご家族はもちろん、学校職員の誰にでもいいから相談をすることを児童に話しました。また、「相談窓口」として保健室（山崎先生）にいつでも相談してほしいことを再確認しました。

